

三郷町

三郷町版 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 大阪のベッドタウンとして発展し、市街化区域のほとんどが住居地域であり、工場等を誘致するような場所がなく、町内での雇用の場は少ない。また、障がい者の就労を支援する場所も少ない。高齢者の意識調査では、60%が就労・社会活動の参加を希望。
- ② 令和4年3月末の奈良学園大学三郷キャンパスの移転により、関係人口の減少、また雇用の減少が懸念。
- ③ 平成28年12月より、「奈良サテライトオフィス35」を開設する。ニーズはあり、現在空室待ちが発生しているが、スペースがないため、これ以上の企業誘致が難しい。また、コワーキングスペースは、年々利用者が増加し、コロナ禍により、さらなるニーズの高まりを実感。
- ④ 本町は、住民全員が生涯に渡って活躍できるまち「生涯活躍のまち」を将来像とする。

2 取組の概要

- 本町は、奈良学園大学三郷キャンパス跡地を「生涯活躍のまち」の核として活用を進める。
- 当跡地を3つのゾーン（健康交流、教育研究、産業振興）に分けて、整備・誘致を行う。
 - 健康交流ゾーン：高齢者や障がい者の居場所、健康増進や地域交流に取り組む。
 - 教育研究ゾーン：サテライトキャンパス（大学・専門学校）障がい者の就労支援事業所（就労移行・定着支援）の誘致に取り組む。
 - 産業振興ゾーン：2つ目のサテライトオフィスとして企業の誘致、テレワークの推進を図る。
- 町内全体に構築する独自の地域BWAやキャンパス跡地に整備予定のローカル5Gを活用したスマートシティ化にも積極的に取り組む。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- これから取り組む上記事業を通して、当跡地が就労や学びの場、また高齢者にとっての居場所となることで、「生涯活躍のまち」として、高齢者や障がい者の方等、誰もが活躍できるまちづくりに寄与する。
- 地域BWAやローカル5Gを用いることで、企業の誘致を優位に進めることができるとともに、企業と連携し、住民の健康増進、高齢者や障がい者が負担なく働き続けられる働き方の改善につながることも期待できる。

詳しくは 三郷町まちづくり推進課 TEL0745-43-7313